

# 平成28年度 事業報告

## 平成28年度事業報告

### ■事業部門

#### 1. 学校教育に対する研究・助成事業

##### (1) 実践研究助成

- ① 平成28年度 実践研究助成
- ② 平成28年度 実践研究助成 助成金贈呈式
- ③ 平成28年度 実践研究助成 成果報告会
- ④ 平成29年度 実践研究助成 募集・選考

##### (2) 共同研究

- ① 教育委員会等への共同研究
- ② ワンダースクール応援プロジェクト(40周年事業)まとめ
- ③ 他団体との交流

#### 2. こころを育む総合フォーラム

##### (1) 有識者会議

##### (2) “こころを育む活動”表彰

- ① 平成28年度 子どもたちの“こころを育む活動” 募集・選考
- ② 平成28年度 子どもたちの“こころを育む活動” 表彰式

##### (3) 全国キャラバン

##### (4) 共同イベントへの参画

##### (5) 有識者対談

#### 3. 広 報 関 係

##### (1) ホームページ等による情報発信

##### (2) 刊行物

##### (3) 教育機関、学会、他団体等との連携による情報発信

### ■管理部門

#### 会 議 開 催

##### (1) 理事会

##### (2) 評議員会

(別紙1) 平成28年度(第42回)実践研究助成 助成先一覧(80件)

平成28年度 事業報告

■ 事業部門

1. 学校教育に対する研究・助成事業

(1) 実践研究助成

① 平成28年度 実践研究助成

平成28年度(第42回) 実践研究助成	
目的	初等中等教育現場の実践者への支援
対象	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、教育センター
助成件数	80件 助成先は、別紙1に掲載(12ページを参照)
助成金額	総額 46,000,000 円 <単年度 一般> 500,000 円 × 74件 <2ヵ年 特別研究指定校> 1,500,000 円 × 5件 <特別指定校> 1,500,000 円 × 1件
内容	① 昨年引き続き、第41回一般助成の研究成果報告書を専門委員に評価していただき、本年より新たに、最優秀校を特別指定校として選び助成した。 ② 本年より新たに、一般助成校 7校に対し、訪問アドバイスを実施した。 ③ 特別研究指定校6校が、年3回の研究者アドバイスにより、実践研究が深まった。その進捗内容を、年3回の活動報告レポートでホームページに公開した。

② 平成28年度 実践研究助成 助成金贈呈式

助成金贈呈式	
実施日	平成28年4月27日(水)
実施場所	パナソニックセンター東京
内容	① 奨励状の贈呈 ② リスーピア等、施設見学 ③ 講演 本年より新たに実施 ・木原俊行教授(大阪教育大学) テーマ「実践研究助成をより充実させる4つの視点とは？」 ④ グループディスカッション ・校種・地域ごとのグループにわかれ、専門委員が各グループに入って、1年間の実践研究活動についての助言を行った。 ⑤ 情報交流会
参加者	第42回実践研究助成 助成先 専門委員、選考委員 文部科学省、関係団体、財団理事・評議員他 計約140名

③ 平成28年度 実践研究助成 成果報告会

成果報告会	
実施日	平成28年8月2日(火)
実施場所	パナソニックセンター東京
内 容	<p>① 「研究成果報告書」優秀校表彰式 第41回実践研究助成 一般助成先より選定 (最優秀賞1件、優秀賞3件、佳作10件) 一般助成の「研究成果報告書」を専門委員6名が評価し、優秀報告書を選定した。 最優秀校は成果報告を行った。また、特別指定校に選り助成することになった。</p> <p>② 中間報告 第41回特別研究指定校6校及び各校アドバイザーコメント</p> <p>③ 成果報告 第40回特別研究指定校4校及び各校アドバイザーコメント</p> <p>④ 共同研究 中間報告 (本年より新たに共同研究の報告を行った) ・埼玉県立総合教育センター、墨田区教育委員会</p> <p>⑤ パネルディスカッション テーマ: ICTを活用したアクティブラーニング パネリスト: 第40回特別研究指定校アドバイザー4名</p> <p>⑥ グループディスカッション&amp;交流会</p>
参加者	<p>第40回、第41回、第42回実践研究助成 特別研究指定校</p> <p>第41回実践研究助成 一般の優秀校</p> <p>特別研究指定校アドバイザー</p> <p>文部科学省、関係団体、財団理事他 計 約110名</p>

④ 平成29年度 実践研究助成 募集・選考

平成29年度(第43回) 実践研究助成	
目 的	初等中等教育現場の実践者への支援
対 象	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、教育センター
募集期間	平成28年12月～平成29年1月
選考期間	平成29年2月
選考件数	77件 (特別研究指定校5件、一般72件)
内 容	<p>① 登録数601件、申請数384件(特別研究指定校19件、一般365件)より、77件を選定した。</p> <p>② 前年に比べ、登録数・申請数が減少した。(前年:登録数747件、申請数462件)</p> <p>③ 申請内容としては、「アクティブ・ラーニング」「カリキュラム・マネジメント」「プログラミング」が急増した。</p> <p>④ 専門委員を4名増員、46名で申請書を評価した。</p> <p>⑤ 選考委員会において特別研究指定校候補の評価について議論があり、専門委員が補足説明書を提出した。</p>

(2) 共同研究

① 教育委員会等への研修モデルの研究

研究団体・研究者	研究課題	助成金
東京都墨田区教育委員会	墨田区の教育の情報化推進事業 (ICT活用促進の方策に関する検証事業) 期間:平成27年12月～平成29年3月	100万円 (前年度予算)
埼玉県立総合教育センター	次世代型教育モデルに関する調査研究 (ICTを活用した反転学習モデルの開発と効果検証) 期間:平成28年4月～平成29年3月	100万円
埼玉県所沢市教育委員会	児童生徒の主体的な学びを育む学習指導 (校内無線LANを用いたタブレット型パソコンを活用して) 期間:平成29年1月～平成30年3月	100万円
静岡県磐田市教育委員会	ICTを活用した授業実践力を伸ばす研修の開発 (「授業中にICTを活用して指導する能力」と「児童生徒のICT活用を指導する能力」の向上を目指して) 期間:平成28年12月～平成30年3月	100万円

② ワンダースクール応援プロジェクト(40周年事業)まとめ

目的	1人1台の未来型授業(One to One)の効果測定と授業実践の 2年間(平成26～27年度)の成果を全国の自治体及び学校に還元する
対象自治体	4自治体(富山市、愛知県春日井市、奈良市、千葉県柏市)
研究テーマ	・ One to Oneの未来型授業を設計・開発する ・ 開発された授業(システム)を実践(研修)し日常化/普及する ・ 学習効果を調査・分析する
内容	① 成果報告書を書籍化、7月に出版した。 「One to Oneへの道 ～1人1台タブレットPC活用の効果測定と教育委員会・学校の挑戦～」 ② 東京で6月4日、大阪で6月18日に、内田洋行様主催の「NEW EDUCATION EXPO 2016」の 会場で成果報告会を実施した。 ③ 全日本教育工学研究協議会 全国大会(10月15日、佐賀)で 成果報告会を実施した。

③ 他団体との交流

目的	ICT教育のさらなる普及・拡大を目指して、他団体との交流を促進する
対象団体	・内田洋行様「NEW EDUCATION EXPO 2016」(東京大会・大阪大会) ・日本教育工学協会様「全日本教育工学研究協議会 佐賀大会」 ・(公財)学習ソフトウェア情報研究センター様 ・日本ICT教育首長協議会・サミットへの事務局協力 ・ICT CONNECT 21への加入(アライアンス団体) ・ベネッセ教育研究所様と、埼玉県立浦和高校の論文作成・発表の支援 ・文部科学省の「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」に出席

## 2. ころを育む総合フォーラム

### (1) 有識者会議

目 的	21世紀の日本人のころのあり方を探求し、社会へ提言する
内 容	<p>ゲストスピーカーによる基調講演及び有識者との討議した。</p> <p>第40回ブラックファースト・ミーティング(4/12)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山田昌弘 中央大学 教授 基調講演 「日本家族のこれから」</li> </ul> <p>第41回ブラックファースト・ミーティング(9/29)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本田由紀 東京大学 教授 基調講演 「日本社会の変容と家族の現状」</li> </ul> <p>第42回ブラックファースト・ミーティング(2/16)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿形恒秀 鳴門教育大学 教授 基調講演 「いじめ防止対策と学校現場の対応」</li> </ul>

### (2) “ころを育む活動”表彰

#### ① 平成28年度 子どもたちの“ころを育む活動” 募集・選考

目 的	“ころを育む活動” を募り、全国に紹介する			
対 象	学校、NPO団体、PTA等の“ころを育む活動” を行っている団体			
募集期間	平成28年 7月～ 9月			
選考期間	平成28年10月～11月			
選考委員	第一次選考:村上徹也委員長、他3名 第二次選考:市川伸一委員長、フォーラム企画運営委員7名 最終選考:山折座長、遠山顧問、フォーラム有識者メンバー			
受賞先 (4件)	賞名	団体名(地域)	活動名	副賞
	全国大賞	和歌山県立熊野高校 Kumanoサポーターズリーダー部 (和歌山県西牟婁郡上富田町)	地域に根ざし、地域に貢献する 高校生リーダーを目指して ～5つの絆作りボランティア～	賞金 100万円
	優秀賞	新潟県糸魚川市立能生小学校 (新潟県糸魚川市)	フウセンカズラ高齢者見守り隊	賞金 30万円
		福井県福井市至民中学校 (福井県福井市)	シン(進・深・信・新)化 チーム『至民』	賞金 30万円
奨励賞	非営利任意団体 KAKECOMI (福島県白河市)	『まかないこども食堂 たべまな』 でのピアサポート学習支援事業	記念品 ビデオカメラ	
内 容	<p>① 企画運営委員会を3回実施した。(7/4、10/3、11/8)</p> <p>② 応募総数92件より、4件を選定した。</p> <p>③ 募集協力をお願いをするために、従来の教育委員会、全国社会福祉協議会等に加え、日本PTA全国協議会、日本青年館、学校コーディネーター等と情報交換を行った。</p>			

② 平成28年度 子どもたちの“こころを育む活動”表彰式

子どもたちの“こころを育む活動”表彰式	
実施日	平成29年2月16日(木)
実施場所	東海大学校友会館(東京・霞が関)
内容	① 表彰状、楯、賞金、記念品の贈呈 ② 全国大賞・優秀賞・奨励賞の受賞者による活動発表および活動展示 ③ 遠山顧問より総評 ④ 懇親会
参加者	受賞4団体 フォーラム有識者メンバー、企画運営委員、選考委員、協賛・後援企業、 募集協力団体、関係団体、財団理事・評議員等 計約70名

(3) 全国キャラバン

全国キャラバン2016 in 鹿角八幡平(秋田県)	
実施日	平成28年11月19日(土)
実施場所	秋田県 鹿角市立八幡平中学校
内容	開催テーマ「子どもと観光客 素敵な出会い・広がる笑顔～こころを育むボランティアガイド～」 ① 開会あいさつ・郷土芸能紹介「谷内先祓舞」、「水沢盆踊り太鼓」 ② 市内3中学校生徒代表による活動報告&パネルディスカッション ③ 基調講話 山折座長:テーマ「こころを育むとは ～ふるさとを誇りに生きる～」 ④ 遠山顧問より総評
参加者	山折座長、遠山顧問、小野理事長、馬場フォーラム企画運営委員・選考委員(パネリスト) 鹿角市立 八幡平中学校、尾去沢中学校、十和田中学校の生徒、教諭等学校関係者、保護者 鹿角市 畠山教育長 まちな案内人協議会、(一財)自然公園財団、後生掛温泉等の協力団体、地域の方々 計約450名

(4) 共同イベントへの参画

第23回少年問題シンポジウム(公益財団法人 全国少年警察ボランティア協会主催)に協力	
目的	他団体との連携により、“こころを育む活動”の輪を広げる
実施日	平成28年11月2日(水)
実施場所	グランドアーク半蔵門(東京)
内容	テーマ: 次代を担う少年の育成のために ～厳しくも温かく手を差し伸べる立ち直り支援～ *本シンポジウムの内容は、『少年研究叢書28』として刊行、全国図書館他へ配布された。
参加者	全国の少年警察ボランティア、関係団体 警察庁生活安全局 種谷局長、新谷フォーラム企画運営委員他 計約400名

(5) 有識者対談

山折座長と遠山顧問の対談	
テーマ	次世代に伝えたい日本人のこころ
実施日	平成29年3月21日(火)
実施場所	京都
内容	山折先生が最終回の締めくくりとして、遠山顧問と対談を実施。 これまでの7回の対談と合わせて、PHP研究所の協力のもと、来年度書籍化の予定。

### 3. 広 報 関 係

#### (1) ホームページ等による情報発信

##### ① ホームページの改修

- ・11月に、トップ及びメニュー画面を一新。財団の考え方や今閲覧してほしい内容をわかるようにした。
- ・全体の閲覧数は減っているが、リニューアル以降、財団案内及び実践研究助成の募集、申請ページの閲覧数が増えた。

##### ② 情報発信

ホームページ	財団の活動(募集、贈呈式等)や助成先等の取組内容及び成果を発信			
	閲覧数	283,603ページ(前年比81%)	訪問数	91,716人(前年比88%)
メールマガジン	毎週発行し、ホームページ掲載の情報を発信			
	配信数	49回(前年比100%)	会員数	2,089人(前年比110%)

#### (2) 刊行物

刊 行 物	発 行 月
書籍『One to Oneへの道』を発売	7月
平成28年度 実践研究助成 研究成果報告書	8月
こころを育む総合フォーラム 平成28年度 活動報告書	3月

#### (3) 教育機関、学会、他団体等との連携による情報発信

- ・日本教育工学協会(JAET)、日本フィランソロピー協会、日本青年館の機関誌に財団事業の記事を掲載した。
- ・機関誌「学習情報研究」に、財団の助成先の活動を連載した。
- ・日本教育工学協会(JAET)の全国大会(佐賀県)で、助成校による取組みを発表した。
- ・募集活動を通じて、全国の教育委員会及び学校、先生が参加する研究会、PTA、また社会福祉協議会、NPOセンター等に財団活動の内容を発信した。

### ■ 管理部門

### 会 議 開 催

#### (1) 理事会

第22回 理事会 (平成28年5月27日)
第1号議案 「公益財団法人パナソニック教育財団 平成27年度事業報告及び決算報告の件」
第2号議案 「第6回 定時評議員会の開催の件」
第23回 理事会 (平成28年6月13日)
報告事項 「平成28年3月1日～5月31日 職務執行の報告」
第24回 理事会 (平成28年12月12日 書面審議)
第1号議案 「平成28年度 実践研究助成 特別指定校の件」
第2号議案 「平成28年度 教育委員会等との共同研究助成先の件」
第3号議案 「こころを育む総合フォーラム 2016年度子どもたちの“こころを育む活動”受賞先の件」
第4号議案 「書面決議による臨時評議員会を招集する件」
第25回 理事会 (平成29年3月14日)
第1号議案 「公益財団法人パナソニック教育財団 平成29年度事業計画及び収支予算の件」
報告事項 「平成28年度(6月1日～2月28日)職務執行の報告」

#### (2) 評議員会

第7回 定時評議員会(平成28年6月13日)
第1号議案 「公益財団法人パナソニック教育財団 平成27年度事業報告及び決算報告の件」
第2号議案 「理事選任の件」
報告事項1 「公益財団法人パナソニック教育財団 平成28年度 事業計画及び予算について」
臨時 評議員会 (平成28年12月22日 書面審議)
第1号議案 「理事選任の件」

## ■ 平成28年度(第42回)実践研究助成 助成先一覧(80件) ■

一 般 74件 : 小学校 36校、中学校 19校、高等学校 10校、  
特別支援教育 8校、教育センター 1件

特別研究指定 5校 : 小学校 3校、中学校 1校、高等学校 1校 特別指定校1校(特別支援教育)

<一般 1カ年、50万円>

### 小学校 (36校)

都道府県	学校名	都道府県	学校名
福島県	福島市立笹谷小学校	愛知県	岡崎市立下山小学校
福島県	南会津町立田島第二小学校	愛知県	春日井市立出川小学校
茨城県	つくば市立吾妻小学校	三重県	伊勢市立有緝小学校
茨城県	守谷市立御所ヶ丘小学校	京都府	京都市立梅小路小学校
栃木県	下野市立国分寺小学校	京都府	京都教育大学附属桃山小学校
埼玉県	北本市立北小学校	奈良県	御所市立名柄小学校
千葉県	柏市立大津ヶ丘第一小学校	鳥取県	鳥取市立湖南学園小学校・中学校
東京都	世田谷区立九品仏小学校	香川県	小豆島町立苗羽小学校
東京都	狛江市立狛江第六小学校	福岡県	大牟田市立高取小学校
東京都	青ヶ島村立青ヶ島小学校	福岡県	苅田町立片島小学校
神奈川県	カリタス小学校	佐賀県	武雄市立武内小学校
神奈川県	平塚市立みずほ小学校	佐賀県	白石町立白石小学校
新潟県	新潟市立小針小学校	熊本県	高森町立高森中央小学校
新潟県	上越市立南本町小学校	宮崎県	日向市立東郷学園若竹分校
福井県	丹生郡越前町立萩野小学校	鹿児島県	伊佐市立湯之尾小学校
山梨県	甲府市立池田小学校	海外	聖学院アトランタ国際学校
岐阜県	羽島市立正木小学校	海外	ルクセンブルグ補習授業校
静岡県	伊東市立旭小学校	海外	パナマ日本人学校

### 中学校 (19校)

都道府県	学校名	都道府県	学校名
北海道	札幌市立平岡中学校区情報モラル研究会	神奈川県	平塚市立土沢中学校
北海道	美唄市立東中学校	新潟県	阿賀野市立安田中学校
宮城県	大崎市立古川中学校	福井県	福井市明道中学校
茨城県	つくば市立春日学園義務教育学校	愛知県	岡崎市情報教育推進委員会
千葉県	君津市立君津中学校	滋賀県	守山市立明富中学校
千葉県	秀明大学学校教師学部附属秀明八千代中学校	滋賀県	守山市ICT活用研究会
東京都	目黒区立目黒中央中学校	京都府	京都市立中学校教育研究会音楽部会

## (別紙1)

都道府県	学校名	都道府県	学校名
兵庫県	宝塚市立西谷中学校	香川県	土庄町立豊島小学校・豊島中学校
奈良県	奈良女子大学附属中等教育学校	福岡県	飯塚市立小中一貫校 頼田校 中学部
広島県	世羅町立世羅西中学校		

## 高等学校 (10校)

都道府県	学校名	都道府県	学校名
宮城県	宮城県仙台第三高等学校	島根県	島根県立益田翔陽高等学校
神奈川県	神奈川県立柏陽高等学校	岡山県	岡山県立矢掛高等学校
静岡県	静岡県立沼津工業高等学校	広島県	広島県立御調高等学校
大阪府	大阪市立鶴見商業高等学校	山口県	山口県立宇部商業高等学校
兵庫県	兵庫県立長田商業高等学校	愛媛県	愛媛県立伊予農業高等学校

## 特別支援教育 (8校)

都道府県	学校名	都道府県	学校名
北海道	北海道拓北養護学校	長野県	長野県稲荷山養護学校
山形県	山形県立山形聾学校	愛知県	愛知県立みあい特別支援学校
東京都	筑波大学附属大塚特別支援学校	滋賀県	滋賀大学教育学部附属特別支援学校
富山県	富山大学人間発達科学部附属特別支援学校	高知県	高知県立高知若草養護学校

## 教育センター (1件)

都道府県	学校名
栃木県	鹿沼市教育委員会

## 〈特別研究指定校 2カ年、150万円〉

都道府県	学校名	都道府県	学校名
茨城県	古河市立上大野小学校	兵庫県	篠山市立丹南中学校
大阪府	大阪教育大学附属平野小学校	神奈川県	神奈川県立生田高等学校
広島県	広島市立藤の木小学校		

## 〈特別指定校 150万円〉

都道府県	学校名
岐阜県	岐阜県立郡上特別支援学校